

## はしがき

近年、就業・雇用構造が大きく変化しつつある中で、失業率の高い状況が続いている。その背後には、人口構造の変化、情報技術をはじめとする技術革新、規制制度改革、国際的な貿易構造の変化など、産業構造変化を引き起こす数々の変化がある。このような産業構造変化は、就業・雇用構造、とりわけ産業別就業構造と職業別就業構造の変化を引き起こす。

このような変化しつつある産業別および職業別の就業構造について、それぞれ産業中分類別および職業小分類別で過去からの変化を整理し、あわせて今後の労働市場において拡大が見込まれる職業、縮小していく職業について、マクロ経済の動向と統合的な予測作業を行った。

本調査研究は、職業別就業者数の推移と将来予測結果を提供することによって、雇用に関する種々の施策等を検討していく際に参考となることを目的として実施した。本調査研究が、これら職業別就業者数の動向に対する関心に答えることができれば幸いである。

平成12年3月

日本労働研究機構  
計量情報部長 白石 栄司

株式会社 三菱総合研究所  
政策研究部長 木村 文勝  
主席研究員